

ゆめサロン

便り

平成 31 年
1 月 26 日
吉賀町ゆめサロン
No.411

雪になりました。

皆様こんにちは、今年はずがふらないから、いいですね。とあちこちで聞きました。昨日から降り始めました。やはり降るべき時には降らないと夏の水不足など心配な事があるんですね。皆様お元気でしようか。あたりは銀世界です。



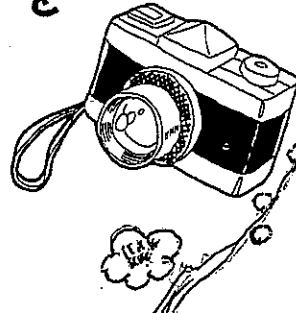
カメラ生活

いつの間にか老いを感じる年齢になりました。こんなはずではなかったのにと思いながら子供らに迷



惑をかけないように生きたいと思っ
学びのために、子供たちから貰った
カメラを持って周囲を見渡します。

毎日撮った写真をパソコンで送って
子供たちの批評をもらいます。こ
なはずではなかったのにまあこれ
も学びです。

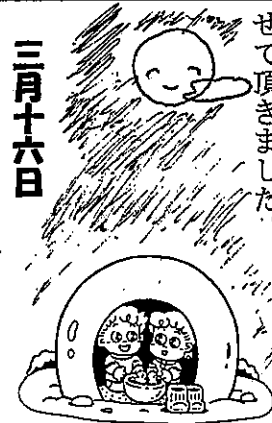


感心したこと

先日満月がきれいでした。御簾

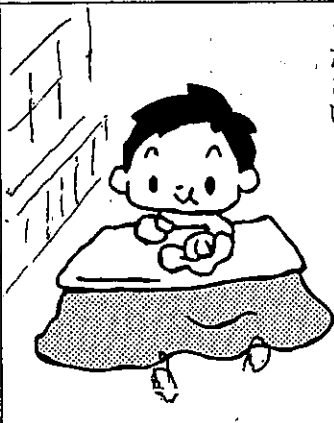
上げさせたまえと言つて月をめ
たという昔を想像し、豊かな心を持
っていたその昔を思う私ですが友
達から聞いた今様の月の鑑賞のしかたを
素晴らしいと思いました。月は月
も見る場所によって趣が違ふよう
で、4人で車に乗って前夜美しく見
えたところに行かれたそうです。
今か今かと2時間半くらい待た
れたようですが、十時になったので
帰られたそうです。この方たちの美
しいお心を素晴らしいと思いまし

た。温かい気持ちで月の出るのを
待たれたことと思います。世知辛
い世の中ですがいいお話を聞か
せて頂きました。



三月十六日 仲間の会の集い

今回は八つの仲間の会の対抗
でペタンクという競技を行うの
だそうです。午前中だそうです。
詳細は日が近づいてから連
絡があります。三月のサロンは
これに代えさせていただきます
運動のしやすい服装でお出かけ
ください。



猫の

あるじや。

皆様お元気でですか。あつた
一年で一番寒いと言われる大寒で
すが、ある子は元気で、過ごさせて
もらっています。



ところで、ちよつとある子の悩み
を聞いて下さい。実は飼主が家を
留守にする時ある子は寒いので
どこでおしっこがでなくなるかわ
からないので連れて行ってくれな
いのです。ある子はティッシュペ
ーパーを箱から次々と出したり、も
つと悪い事をしてたりして過ごし
ます。でもその悪い事は恥ずかしいので
言えません。お正月には飼主の子
供や孫たちが帰って賑やかでした
からある子には目もくれませんでした
した。ある子は寂しく過ごしました
その時も悪い事をしました。また今
度お話しします。ある子はもうじき
二十歳です。かなりのいたずらをし
ます。ところでこの前今年初めて、
外に出てみました。露の臺がこんも
り頭を持ち上げていました。
ではまた、ごきげんよう。

ゆめサロン

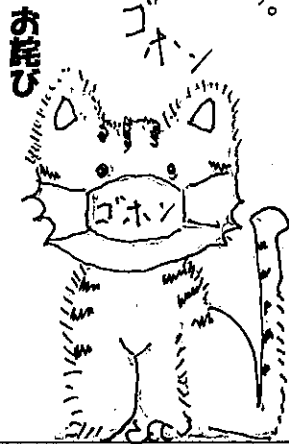
便り

平成 31 年
2 月 5 日
吉賀町ゆめサロン
No.412

立春を過ぎて

今のところ少し気温も高いのですが、また寒くなるようです。皆様、お体を大事になさって下さい。

お会いして楽しく語り合いたいです。もう露の墓がぼつこりのぞいていますね、暖かい春もすぐそこです。



お尻ひ

このところ全国的にインフルエンザが蔓延しているようです。大変残念ですが**二月の例会を休会とさせていただきます**。皆様お元氣でお過ごしください。三月の仲間の会

で元氣にお会い致しましょう。

猫は気温

に敏感なように思います。



猫は炬燵で丸くなる。という童謡の一節がありますが、ちよつと暖まるとすぐに板の貼ってあるところに行き体を冷やします。冷えると暖かい所に行きます。冬、外は雪と言う日には夜は私の布団の中に入り、私にしがみついています。普段は暖房のない食卓の椅子の上で朝を迎えます。長く飼っている猫で私はすっかり愛情が移ってしまつて、この猫は私の事が好きなんだと思つています。どうも勘違いのようです、そう言えば娘がいったことがあります。猫の脳は人間の脳から前頭前野を抜いたものだとかの本で読んだと。そうなんだなあと実感する私ですが、前頭前野とはインターネットですらべてみました。

前頭前野とは

ヒトをヒトたらしめ思考や創造性をなう脳の最高中枢である。人で最も発達した脳部位であると共に……

これでは猫にあつてはおかしいと納得していると聞き捨てならぬことが続いていた。それは、老化に伴つて最も早く機能低下が起る部位である。と。これでは私の方が猫並なのだわかつたが落ち込みます。

体力の低下



妹がかぜをひいたからとパジャマをきて布団の中に寝ていたらしいのです。それを知らない私は電話で、「年取つたらちよつと動かなかつたらもう衰えるらしいからパジャマは昼はきてはいけないらしいね」というと、

早速パジャマを普通の服に着かえて寝ていたとか、(´・ω・´)……

あーいっす。

猫です。



皆様ご機嫌いかがですあることは今日も元氣です。飼い主は前頭前野がなんとやらと難しい事を言いますがあるにはわかりません。人間の言葉が話せないのが都合が悪いのですが、まあ部屋から出たいときは、障子の前に座つて「いっす」というと「でたいの？」と開けてくれますし、お風呂場に行つて水を飲みたいときは、飼い主の方を見ながら行けばついてきてくれます。洗い場の蛇口の前に座れば水を出してくれますし、いらなくなつたら、「いっすあ」と言えば蛇口を閉めてくれるから今のところ不自由はしていません。困るのは人間扱いされることくらいです。飼い主のツレが時々「あの子は猫じゃけえ無理だ」といつてくれるのでたすかっています。ではまたお逢いしましょう

ゆめサロン

便り

平成 31 年
2 月 6 日
吉賀町ゆめサロン
No.413

早春

立春の翌日は日本晴れのいい天気でした。今日こそ太陽の恵みを受けたいと思いい近所の方とウォーキングとしゃれてみました。風も冷たくなく薄着も気になりませんでした。清流と言われる川なのにカモもオシドリもいなくて残念でしたが話しながら歩いた時間は楽しく、気分も晴れました。



久しぶりの

短歌です

休会なのに休まず短歌を出して下さったうさこさん有難うございました。繊細なお心感じます。



うさこさんの 平成三十一年

短歌コーナー 如月

(うさこ)

○哀愁を

おびた童謡聞きながら

今日の日終えてただありがたく

○音もなく

降る雪見つめ追憶の

春まだ遠き日暮れの際に

○ろう梅の

香る冬の日おだやかな

こもれ日見つめ春を待ちわび

○冬なれど

春を思わすいぬふぐり

そつと咲きおり優しき色に

○さくさくと

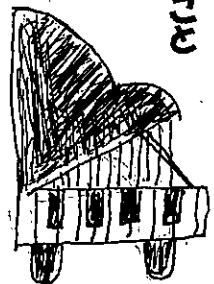
音立て霜を踏みながら

朝の散歩で今日の日歩み

うさこさん有難うございました。



学ぶこと



冬としては天候に恵まれて、らかな毎日をごさせていたただいていますが、これでいいのだろうかと思分の生活に不安を感じています。先日のことです。親しくさせて頂いている方から電話いただき、いろいろ話していましたが、その方が言われるには、なにかしらないいけなから折角あるピアノを習おうかと思ったりする。と言われました手を使うのが脳にいいというからやってみたい。言われるので、感心しました。私は若い頃からピアノを必要とする職にいたのにそれを征服することができなかつただけに、その奥さんを素晴らしい方だと尊敬していたけど再度感心しました。人は生きていく間は努力しなければいけないと言われますが、改めて誇り高く生きることの難しさを感じます。

ゆめサロン

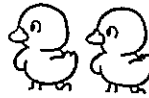
便り

平成 31 年
2 月 28 日
吉賀町ゆめサロン
No.414

早春です。

皆様お元気ですか。

何処を見ても春の息吹が感じられるような季節になりました。今年の冬ももういつてしましそうです。何か名残惜しい気がいたします。でも露の臺を見つけて喜び、梅の花を見て喜び、空の色に早春を感じて喜んで、楽しませてもらっています。皆さまは如何お過ごしでしょうか。



野鳥

先日のごことです。近所のお宅にお邪魔したら



「珍しい鳥がいたからきてもらっ

たのだ」

と奥さんが言われ、鳥根県、鳥獣保護とかいう腕章をつけたかたが双眼鏡でやまをみておられました。

私は持っていたカメラを望遠にしてみてもみました。おなかの白い猛禽類のような鳥が居ました。このあたりにはいそうな鳥で胸がわくわくします。その後どうなったか見届けずに邪魔しないで帰りました。その鳥の行方が気になります。

めかね

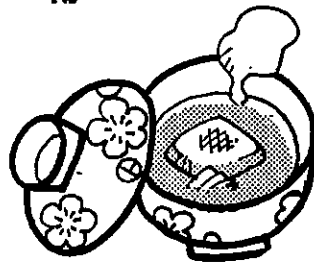


今から三十年くらい前に以前住んでいた町のメガネ屋さんでつくってもらいました。このメガネがよくて四つのメガネを必要なお店において使っています。この頃フレームが傷んでしまいましたので恐る恐るメガネを作ってもらったお店に電話させてもらいました。なんと覚えて居て下さったのです。いつでもおいで

という嬉しいお返事を頂き、大変うれしく思います。先日眼科に行

ったところアレルギーの症状があるとのこと、それだけではどうにもなりません。取りあえずフレームを修理してもらいます。

友達からの贈り物



いつも電話で思い出話をしたりする山口県に住む高校の時の友達がお餅を送ってあげようかと電話してくれました。いいのかなあと思いつつも、

「嬉しいよ」

という次の日柔らかいお餅を沢山おくつてくれました。沢庵もいれていてくれて感激。いつまでたっても人に生かしていただいている幸せな私です。お札に何を送ろうかなとワクワクしながら考えています。



猫の

あることです。



皆様お元気ですか。ある子は今年の五月で二十歳になるのですが、この世に生かさせていただいて幸せにすごさせてもらっています。ただ一つ困るのは爪が延びてもはがれないのです。爪磨きをすればいいのですが闘争意欲もないのでそれもしません。廊下を歩けばカツカツカツとおとがするためロボットが来たように思われます。時々飼い主が「爪爪きつてあげよう」

といいます。下手なので安心してはおられません。

飼い主とそのツレがおどろくのはあることが時間の感覚を正確にもっていることです。飼い主が起きる時間にはある子の顔を飼い主の顔にすりつけます。飼い主が眠る時間にはベットに行つて待っています。お風呂の時間にはお風呂場の前で待っています。こうしてある子とこの家の住人は今日も暮らしています。シニア生活もいいものです。

ゆめサロン

便り

平成 31 年

3 月 10 日

吉賀町ゆめサロン

No.415

春に なりました。

皆様お元気ですか。

早春の日が照っていると、何故かどこかへおいていかれそうな不安な気持ちになりながら、私はこうしているしかないんだと思ってみたり、そんな時若山牧水の歌を思い出します。

白鳥は悲しからずや空の青

海の青にも染まず漂うと。

うけいせんの 短歌です。

短歌です。

繊細なお心をお持ちのうけいせんの



んに助けられて、私はサロン便りを作らせて頂いています。今回も素敵です。

○早春を

優しき色の菜の花に

囲まれ朝はしあわせ色に

2019年
弥生
(うごこ)



○紅梅の

淡き花びらひらひらと

舞ってはかなき早花咲月

○山々の

芽吹く季節に櫻花

淡きうす紅咲く頃近き

○ほろ苦き

菜の花味わい春來たる

草木も共に喜んで

○濫觴の(始まりの意味)

季節は巡り愛惜の

花開く頃うす紅桜

うせいせんありがどうございました。パソコン技術が不慣れなためルビを打った行の幅がわかり見苦しくて済みません。

あるんです。
猫です。

みなさんこんにちは

あることはもうじき二十歳ですが元気に生かしていただいています。飼い主があることに嬉しのため話して聞かせるときはじっと飼い主の顔を見て聞いています。基本的に二十歳用のキャットフードだけを食べるようにしていますが、大好きなのはサバの缶詰めです。この頃飼い主は小鳥を呼び寄せるといつてリソゴを切つて山茶花の枝に置いたりしています。ある日は小鳥を捕まえたくなりません。廊下を歩くとカチカチと音がするのでなにもかも逃げて行きます。ではまたごきげんよう。



ゆめサロン

便り

平成 31 年
3 月 12 日
吉賀町ゆめサロン
No.416

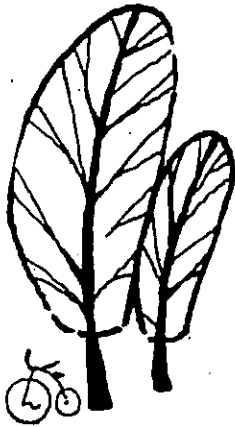
季節は巡って

皆様こんにちは



お元気でいらつしやいませしょうか。映画をみて居るように季節は巡って春を迎えようとしています。華やかだった山の紅葉はピンクの枝を青空にむかつてのぼしています。又あるものは銀色の木を伸ばしています。私達は今日も生かして頂いています。感謝して……

行く道は判らない



雨が降って、風が吹いて誰にも会えない寂しい日に、誰かと話が出来て娘にメールをしてみました。

寂しいよ。小鳥も飛んでくれないよと。すると娘から来たメールは、小鳥は日曜日は定休日なんだよきつと……と。

そうだ今日は日曜日なんだ。社会保険労務士としてずっと働いている娘にとっては今日はリラックスする時間なんだ。と気付きました。でも寂しいよとつぶやく私です。

テレビ

教わった



皆様はご存知でしょうか。窓ガラスを食器用洗剤でふくと結露を防ぐことができるって聞きましたので早速試してみました。本当にびっくりしました。水が滴っていましたがそれがありました。教えてもらおう前後という番組でした。その後助かっています。界面活性剤が含まれているからだそうです。お試しく下さい

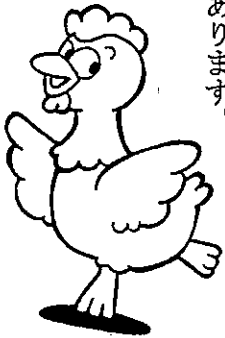
なんて言う

とにひょう



寂しいから小鳥でも呼ぼう、とリンゴを切つて山茶花のえだにさしたりエサ台に置いたりして水も置いてやりました。さあこれいい……とそのばをはなれて、そつと振り返ってみるとカラスが羽音を立てて飛び立ちました。その後電線に止まり私を見て、「かあ」

と一声……りんごはありませんそんなことをしなくていいのよ。というように小さなピンクのお腹をした小鳥が数羽梅の花にとまつて居ました。優しい小鳥でしたフェイスブックに載せると、桜文鳥でしょう。とか色々お返事いただきました。世の中いろいろ沢山あります。



猫の

あまじゅ



申します。

皆様お元気ですか。ある子は元気

です。飼い主と寝るのですが布団が体にかかると鬱陶しいので、枕の上に寝て飼い主の寝た顔を見て居て朝をむかえます。ある日も若い時は布団の中に潜って寝ていたので。

思い出すと若い時の思い出は尽きません。夜中に外を歩き回って狩りをしていました。うさぎもねずみももぐらも採りました。それを食べたら飼い主に叱られるのでテラスに並べておきました。飼い主たちが散歩をするときはある子もついて行きました。楽しい思い出がいっぱいあります。今は外に出ない猫です。今はテレビの動物をみて居ます。ある日も、飼い主たちに負けないシニアです。縁側で日向ぼっこをしていたらスズメがある子の胸にとびこんできた。飼い主はいいいます。飼い主の娘が言うには「そんな危機管理のできんスズメはおらんだろう」と言いますがわかりません。では

ゆめサロン

便り

平成 31 年

3 月 17 日

吉賀町ゆめサロン

No.417

仲間の会 たのしく



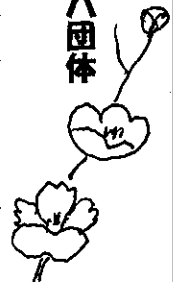
待ちに待った三月十六日は思いがけず雪がふっていました。待ちに待ったとはいえ、久々の団体行動についていけるのかという心配もあつて複雑な気持ちで会場に向かいました。懐かしいメンバーさんと顔を合わせるについ本音が出て、「どうしよう私は苦手」というと「ここまできてそんなことをいわんの」といつてくださり気持ちも落ち着いて初めて目にするペタンクという競技に夢中になりました。みんな和気藹々で時間のたつのも忘れてたのしみました。あつというまにお昼を迎えて会場を基幹集落センターに移動しました。そこでは、食生活改善推進員のみなさんたちが食事の準備をして、にこやかに迎えてく

ださり、いたれりつくせりの中、八つのテーブルに分かれて座らせていただきました。

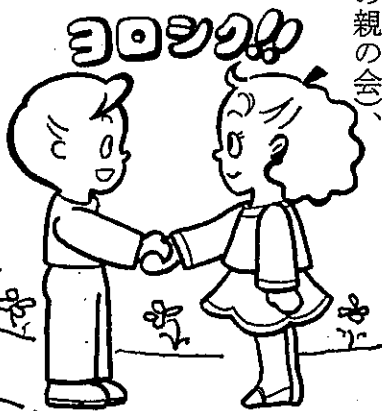
食改さんたちがコップパンにマーガリンを塗って置いて下さり、挟むための具材も品数多く準備してくださつていて好きなものを挟んでたのしくいただきました。美味しく楽しかったです。いただいた後表彰式がありました。吉賀の里さんが作られたクッキーを参加賞としていただいた上にお茶菓子も出して下さり感謝しました。その後、春が来た、幸せなら手を叩こう、ゆうやけこやけなどをひばりの会の能美先生が指揮をして下さり、みんなで合唱して会は終わりになりました。楽しい会を企画して下さい。保健師さんはじめ多くの方々に感謝します。



吉賀町内 仲間の会へ団体



手をつなぐ育成会（知的障がいの親の会）、希望の会（精神障がい者と家族の会）、断酒新生会鹿足支部（酒がいの者と家族の会）、陽だまりの会（認知症介護者の会）、ゆめサロン（がん患者と家族の会）、はじめの会（デイケアの仲間）、BGHクラブ（脳卒中既往者の会）、自閉症協会鹿足支部（自閉症の親の会）、



四月ゆめサロン 例会について

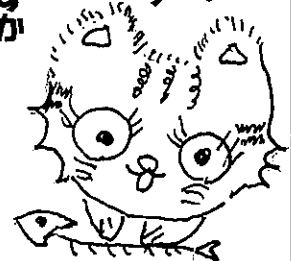
いつもの通りに、四月第三土曜日にあります。よろしくお願います。

猫のあそび と申します。

いつも有り難うございます。

皆様お元気ですか

春は進んでいますね。ある子の年も二十歳に近くなりました。



若い頃は高い所に飛び上がり、楽しんで食べたりしましたが今は専ら二十歳用の餌ばかりです。年取つたらネズミまで馬鹿にして寝そべつているあることをネズミが見ながら横切つていったと飼い主が笑つていましたがこの家にネズミが住んでいること自体可笑しいと思います。この頃時々飼い主が老眼鏡をかけてくれます。これは流石によくみえるかわりに飼い主も年取つて見えます。この頃ある子は人間のようにもじやもじや喋つてみます。飼い主が「誰の話し声だろう」というくらい日本語に近いらしいです。飼い主はあることパソコンで遊びます。浦島たるこの飼い主です。

ゆめサロン

便り

平成 30 年
4 月 14 日
吉賀町ゆめサロン
No.381

春本番です。



皆様お元気ですか。ソメイヨシノは綺麗に咲いてくれましたね。早くも八重桜の季節です。この春は何かと忙しくサロン便りも遠のいてしまいました。申し訳なく思います。第三土曜日にはお会いできると楽しみに思っています。



四月初めは小学生の孫二人が新幹線でやってきました。勿論新岩国に迎えに行きそれから五日間の婆は童心に帰っ

て遊びました。

お風呂の窓を開けていてそこから出た猫のある子が夜にかえっていなのも気付かず朝を迎えて、すっかり弱って帰ってきたある子は餌を食べない猫になって痩せる一方でした。

孫を新岩国に送った翌日はある子を病院につれて行き、次の日は私が住んでいる組の花見会、その次の日は再びある子を病院へ連れて行きました。いろいろの検査をされて点滴を受けさせ、私の仕出かした失敗を申し訳なく思い、ひたすら尽くしました。

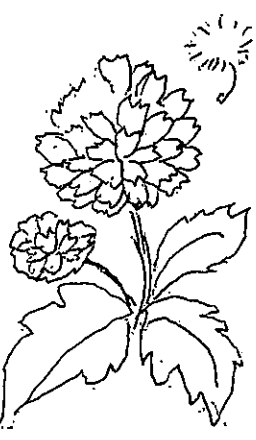
その次の日は、尊敬していた叔母の葬儀で東広島に行きました。こうなるまでお見舞いにも来なかったことをひたすら詫びながら読経の中に身を置く私でした。

広島駅からバスに乗ってだんだん暮れてゆく景色を見る時・・・やはり寂しさがこみあげます。こうして家に着いたのは夜八時前老体のある子が迎えてくれました。水だけを飲んでしのぐある子がみじめでしたが、命あるものは必ず最期はくるのだと覚悟の上でやはり・・・

次の日は、二日しなかった掃除をまとめてしながら私も元気にならせてもらったものだ。と感謝したりです。

そしてまた次の日は益田のペットクリニックへ。一度壊した体はもとかえるのが大変ですね。そんなこんなですっかりサロン便りとご無沙汰の生活をしてしまいました。

ある日は十二日目にほんの少しのキャットフードをくちにしました。そのあいだは花籃と水で命をつなぎ、五キロ四百あった体重は二キロ七百になってしまいました。私の体重をあること夫に分けたらいいのに思うようにいかないものです。もうすぐ四月の定例会です。この現実から離れて皆さんに逢えるのが楽しみです。



あることです。おひさしぶりです。



みなさまこんにちは、お元気ですか。ある日は十九歳ですが黴もシミもないと飼い主が羨ましがっていましたがこの度は痩せて毛皮だぶだぶの老体になりました。でもクリニクの先生が、病気もないし悪い菌もないし疲れだからまだ大丈夫といわれました。まあ飼い主は暢気なものです。孫と遊ぶためにあるこのことをすっかり忘れていたから、家出してやったところがそれも気がつかなかったらしくある子は寒空の下入り口を探して歩きまわり朝になってしまいました。そのせいで食事ものを通らず、クリニクの先生から戴いたチャオという流動性のもを舐めています。夜は飼い主が手枕でねかせてくれます。もう少しいきてこの世を楽しみたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



ゆめサロン

便り

平成 30 年
4 月 22 日
吉賀町ゆめサロン
No.382

若葉が

目立つ

季節です。



秋には真つ赤だった楓が鮮やかな緑でそこそこを彩ります。

皆様お元気で過ごしてのことと思います。この時期何故か物憂い感じがして

若山牧水の有名な短歌を思い出したり島木赤彦の短歌を口ずさんだりするの私だけでしょうか。

幾山川超え去りゆかば寂しさの

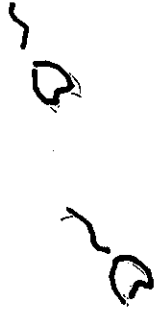
果てなむ国を今日も旅ゆく

牧水



一つにて浮かぶ舟の船この春も
山の湖水に一つ舟の船

赤彦



4月の

ゆめサロンの

例会



綺麗に晴れ渡った空はベールがかかったようにかすんでそこらには春の花が一斉に咲いて、周囲の山は若葉がそろい始めた暑ささえ感じる様な日に恒例の例会が開催されました。

久しぶりに集まる会は懐かしさいっぱいでした。

恒例になってしまったように保健師さんはお休みの日にも関わらず会場を設定して迎えて下さいました。

いつものことながら頭の下がる思いがいたします。前日に出雲まで検診に行かれた方や、益田で精密検査に行かれた方、検診まちや結果待ちで気の許せない状態の方の集まりなのに、会場には笑顔があふれているのが不思議です。個人情報保護で内容は述べませんが一人ずつ経過報告に耳を傾けました。会員さんからの差し入れのおやつを頂きながら話しのとぎれることなく時にはため息も

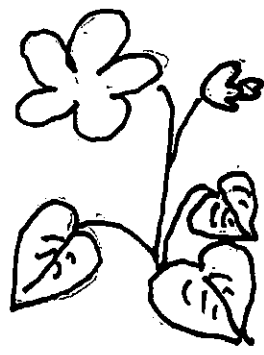
聞こえる深刻な表情を隠しきれない時間でした。こうして一時間過ぎたころ、気持ちを入れ替えて
みんなであつたいましよう。

とあって恒例の歌の時間になりました。指導はいつもの元教員の方ですが八十八歳とは思えない張りのある声とリズム感と指導力は流石です。三十分歌って体の毒はみんなだして笑顔で会を閉じました。

保健師さんより



健康診断の用紙を送送したので記入して五月二日開め切りのので遅れない様に出すように。



猫の あるじです。

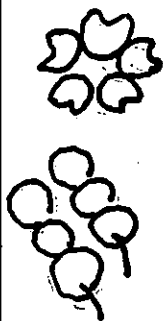
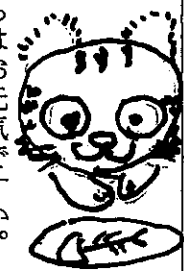
皆様こんにちはお元気ですか。

あるこはもうだめかと思うような弱り方でしたが、うちの飼い主の子供たちのお陰でみたび命を復活させてもらいました。

飼い主はと言えは、

「もう年だからねえ、今までありがとうね」といって涙をこぼして暗くなっていました。

一昨年の夏はあるこが熱中症にかかってあえいでいたとき、飼い主の先輩さんがすぐに病院につれて行くようにといってくださったようであるこは痛い注射をされたけど元気になりました。今回こそは飼い主は諦めていたように泣きながら抱いて寝てくれました。五キロ四百あつた体重は二キロ五百になつてしまいました。では又の号で



HANAYOH DANGO

ゆめサロン

便り

平成 30 年

4 月 22 日

吉賀町ゆめサロン

No.383

暑い4月

です。



暑さに体が慣れていないので熱中症に気を付けるようにと、テレビでは呼びかけられる異常なお天気です。

それだけでなくさえ体調がわるいのには熱中症とは大変だとブツブツという私は昨日のサロンの余韻に浸りながらパソコンに向かっています。足はしびれが治らず、お腹には油のかたまりがほったりとついていてもこれも命と引き換えにならなくてはならないのだと自分勝手な解釈しています。そんなとき、メンバーのうさこさんから優しい短歌を頂きました。いつもありがとうございます。



42-リ-フ

うさこさんの

短歌コーナー



○川原より

ながめる水の清冽な

私欲なくして澄みて清きに



○櫻花

咲いて散りゆく花なれど

使命の限り切に咲きおり

○うぐいすに

なぐさめられて夕暮れの

山に向かいて恵沢なりて

○とめどなく

流れる涙ぬぐえども

あふれてやまぬ弥生の夜に



○悲しみを

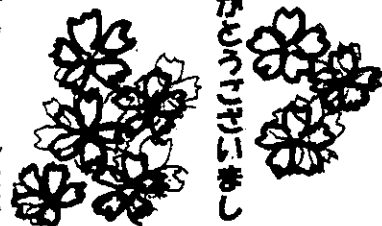
包み込むよな青空に
すべてまかせた早花映月

○両手より

こぼれるほどのしあわせを
皆に与えし 花よろこびて

H三十年弥生(うさこ)

うさこさんありがとうございます



冬の寒い間寒風にさらされながら高津川の堤防の断面に芝桜を植えられた一人の女性がおられます。今百八十七号線から見えるのはその美しい花の景色です。その方は謙遜されて「用事がないからよ」といわれますが、心の美しい方だと心の中で感謝しています。

す。今山に囲まれた田舎に色とりどりの芝桜が一級河川の清流日本一が、続いた里をいるどついでいます。

猫のあそび



前号でお約束しました続きを言わせてください。飼い主とツレはあの子をバスケットに入れてペットクリニクに行きました。先生やトリマーさんやその他スタッフの方は優しく「あるこちゃん」と呼ばれます。診察台の上でバスタオルをかぶせられ十分位点滴をされました。ちよつと怖くてわあ、うううといいましたが無駄な抵抗はやめてじつとしていました。飼い主は先日から少々お金も使ったようですがあるこのためならなんのそのつて感じたのが救いです。帰ったころには食事もできるようなりあるこはみたび復活しました。皆さん有難うございました。まだ生かれます。飼い主とツレと共に。

ゆめサロン

便り

平成 30 年

5 月 1 9 日

吉賀町ゆめサロン

No. 386

五月のゆめサロン

集会



このところ暑い日は三十度を越し寒い日は十六度だったりして中々体がついていきません。今日は寒い日でしたが会が始まるころには外は陽ざしがあり、みんなの歌声が響くころは明るい太陽がブラインドの隙間からはいっておりました。今日初めていらして下さった方に会の感想をおききましたら、楽しかったので痛みを忘れていたと言ってくださり、嬉しく思いました。病気を経験するまでは夜眠れないと思っただけでもないのにこの頃はいろんなことを考えすぎてねむれないまま朝を迎えることも有ると

をお持ちの方が、ご自分の対処法をユニモアを交えて話されたりして和氣藹々の時間を過ごしました。みんないっしょのことながら大病を克服されたとは思えない明るさに頭が下がります。保健師さんはこやかに聞いて必要なアドバイスをして下さり会員は安心して話して、それぞれの話を聞きながら一喜一憂して過ごしました。次回六月十六日にお会いすることを約束して会を閉じました。

保健師さんより



体が暑さになれていないこの時期こそ熱中症に気を付けるように、といわれ、こまめに水分補給をするようにと言われました。また麻疹のことについてのお話もありました。水分補給をすること、心配があれば麻疹の抗体検査をしたらいいと話して下さいました。

うさぎさんの

短歌コーナー

○はまなすの

咲く頃巡り初夏の風

甘き香りの五月さみだれつき雨月に

○はかなくも

散りてわびしきばたん花

香りとどめて風に吹かれし

○近接の

余地もなきほど美しく

凛と咲きたり夏こでまりの



○辛いなど

声に出さずに言わずとも

後ろ姿はすべてを語り

○風薫る

五月の空はどこまでも

澄みて心の洗われし

○ひそやかに

春の終わりに咲きほこり

忘れなの草淡き彩り

H三十年 皐月 うさぎこ

うさぎさん有難うございました。

猫のあるこは今回は今回はお休みします。またみて下さい。今日留守をしたら、大量のげぼをしていました。おこっていました。



ゆめサロン

便り

平成 30年

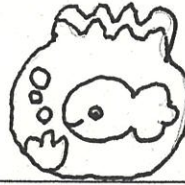
5月29日

吉賀町ゆめサロン

No.387

五月も

終わりに近づいて



皆様お元気でしょうか。鬱陶しい季節がやって来ます。生かせていただくことを感謝しながら、時の流れのはやい事を嘆いています。

お詫び



わいわけ
ごうがいせん

前号のうさこさんの短歌の最後の方で、勿忘草の淡き彩りとするところを忘れなのくさとかいていました。正しくは

○ひそやかに

春の終わりに咲き誇り

わすれなぐさ
勿忘草の淡き彩り

でした。お詫びして訂正させていただきました。これからもこれにこりず

に原稿をおだしになってくださいませ。ジャンルは問いません。ご自由どうぞ、お出しになって下さいませ。

コミュニケーション



生きとし生けるものは、年取ったら寂しいものだという事を読んだことがあります。うちの猫も寂しいのでしようか。血気盛んなころは泣くことを知らない猫だと思っていました。この頃は私達が夜に眠ったところに泣き、読書などして静かな時になき、どの部屋にいるかわからないとき泣いて探します。それも連続十回くらいなのです。それに答える時、同じように「にゃおん」をくりかえしてやりませ。日本語と猫語が交差するわが家は賑やかです。

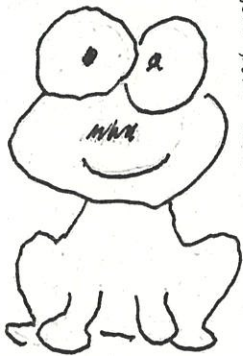


ムカデとへび

どちらも嫌なものですが、これらが嫌うのはニンニクや木酢液らしいです。ニンニクで発酵黒ニンニクを作る時そこらあたりが大変な匂いがしますがこれもいかもかもしれませんね。

梅雨入り

九州地方と四国地方と山口県下関市が五月二十八日につゆいりしたそうです。今年はやいようです。健康に気を付けて梅雨のりきりましょう。



猫の

あーんです。



皆様こんにちは、お元氣のことと思えます。

ある子も元氣です。十九歳ですが皺もシミもありません。

ただ、この頃寂しくて飼い主たちが夜寝ると度々ないておこします。低い声であーん、あーん、あーん、あーん、と十二回いうと飼い主が同じことを繰り返します。日中飼い主がいなくて何故か、ゲボが出るのです。飼い主がお風呂にはいる時はかならずついていって傍でみてやっていたのですが時間がまちまちである子も面倒なので、夕方五時になったらあーん、あーん、あーんと低い声で唸る様に呼んでやるのです。この頃は年のせいだ眠くて寝ている時間がおおいあることです。また今夜も起こしてやりましょう。朝は四時五十分に第一声をあげます。ではまたお話しします。



ゆめサロン

便り

平成 30 年

6 月 17 日

吉賀町ゆめサロン

No.388

平成三十年

六月定例会



梅雨の時期ですが、梅雨晴れ間のいいお天気で青空のもとで、たち葵がいろとりどりに咲いている六月半ばの昼下がりに行いました、参加者は十名、どなたも大病を経験された様子はどこにも見えません。話されることも、説得力があり、話して笑って食べて飲んで、歌って楽しく過ごしました。保健師さんはそんなメンバーの様子をにこやかに見守っていて下さいました。

お誕生日

この日八十九歳のお誕生日を迎えられた方がいらしたのです。その



かたがおっしゃったことは、「みなさんのおかげで今日の日を迎えることが出来ました。お礼の気持ちで今日はお茶菓子を買わせていただきました。みなさんありがとうございます。ございました。」といわれたのです。メンバーさんの一人がおうちに咲いていたお花を花束にして持ってきてくださいました。ゆり、ガーベラ、カキツバタ、しょうぶ、アルストロメリアなどさまざまな花束を黄色のリボンでたばねてありました。

今の日本があるのは、今ご高齢になられた方々のご尽力があったからこそと感謝させていただきました。これからも尊敬の念を忘れず、後につなげてまいりたいと思います。ゆめサロンではこの方のご指導で毎回歌を歌わせていただき、楽しませてもらっています。誕生日を讃える歌は、「ハッピーバースデー」でご本人のご希望で「ディアゆみちゃん」と歌わせていただきました。おそれおおいことですが楽しませて頂きました。メンバーさんからのお菓子のさしいれもあり、カロリーオーバーか

もしれませんが、明日からダイエットすることになります。(笑い)お誕生日は、お父さんお母さんに感謝しましょうね。と以前の私は職場で言っていました。人間は感謝を忘れてはいけなないとあらためて教えられました。楽しい定例会を終えて帰る時も六月の太陽は空高く輝いておりました。

へび



お墓の掃除をして、石段を下りる時、ブーンブーンと変な音、ふとみるとへびが尻尾を震わせて音をたてていました。顔を見ると真っ黒な目で私をみて居ました。気持ち悪くて「きやくつ」といつたら逃げて行きました。この前知った木酢液をスプレー容器に入れて置いておきましたところ、そ

の後はへびをみていません。何処かに隠れているのでしょうか。

猫の あるんです。



みなさまお元気ですか。あるこは元気に暮らしています。

この頃は、年のせいか声が低音になりました。そして若い頃はあまり鳴かないあるこでした。がやはり年には勝てませんね。もう一つ、変わったのは飼い主たちの言葉が理解できるようになったのです。

「あるこかわいいねえ」

「あるこはんよ」

「あるこねんねしようよ」

など全部人間の日本語なのですがわかります。テレビの番組で動物が出るものは見せてくれることがあります。その時は飼い主も一生懸命みています。この頃は朝、飼い主たちを起こす時間は五時前です。ツレはすぐおきてくれますが飼い主はなかなかおきません。よく肥るはずです。ではまたお会いしましょう。

ゆめサロン

便り

平成 30 年
6 月 17 日
吉賀町ゆめサロン
No.389

紫陽花

あちこちで紫陽花が咲き始めました。色々な種類があるものだと感心しながら、緑濃いなかにどっぶりつかつて、たのしんでいる私です。昨日のゆめサロンであつた方達に早くも会いたくなりました。みなさんそれぞれに楽しんでおられることでしょう。七月の二十一日のさろんが楽しみです。



おしらせ

八月のゆめさろん
お休みにいたします。



会場の都合です。皆様お元気で...

うさぎさんの 短歌コーナー

○ 五月雨の

季節は過ぎて夏のに

あまりに冴えし天心の

○ 朝露を

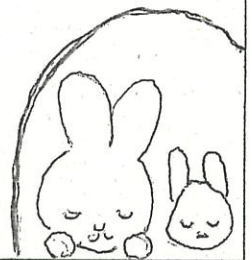
受けてきらきら輝きて

アジサイ咲きた涼暮月に
すずくれづき

○ 順逆の

心正して歩むとき

悟りの道もやがて開きて



○ 初夏なれど

秋待たずしてコスモスの

花びら散りてあわれみなりて

○ 夏衣

身にまとう日に近づきて

皐月過ぎ去り季節は巡り

○ 美しく

ただ美しくなでしこの

花卉輝き朝日に映えて

うさぎさんありがとうございました。

あつこです。

こんにちは



続けます。ある子の体重は、以前は五キロ四百グラムあつたのです。飼い主は、ある子の体重がペットクリニクで二キロ五百グラムしかなかつたので気にして体重計を買つたのです。ところが二キロ九百グラムでした。デカいのは飼い主ばかりです。お腹ばかり大きくてかっこ悪い飼い主はツレに頼んで金魚を三匹かつていました。

「お腹が大きいのはいいねえ」と満足そうでしたが、その金魚は一か月のうちに三匹とも死んでしまいました。

そんなバカげた飼い主とともにある子は今日もひねもすのたりのたりかなの気分です。では皆様お元気でお待ちしております。



ゆめサロン

便り

平成 30 年

7 月 18 日

吉賀町ゆめサロン

No.391

大きな災害に

心傷めながら

何のお手伝いも出来ず

申し訳ありません。

被害にあわれた方に心よりおみ
まいもうしあげます。

それに加えて例年にならないという早
い梅雨明けのせいかまさに酷暑の
日々ですが皆様お元気で過ごして
でしょうか

連日放映される復興にご尽力の様
子に心を痛め、サロン便りもてにつ
かず失礼しております。皆様のご健
康を心よりお祈り申し上げます。



うさぎさんの

短歌コーナー

1130年 文月

(うさぎ)



○ 涼やかな

色の花々ながめゆき

きげつ
季月も過ぎし季節は夏に

○ 哀愁を

おびた童謡口ずさみ

思いは尽きぬ幼き頃の



○ くもりなき

空に大志をいだく時

心に問いて誓い新たに

○ 老いの身に

陰落とすこと多々あれど

笑顔の華は常にたずさえ

○ あれは夢

ただ夢なりて遠き日に

まぼろし見てた早春の頃

○ ホタル見ず

水無月去りし文月に

いちるの望み今少し持ち

うさぎさん

ありがとうございます

ございました。



ご挨拶

原稿を頂かなかつたらこの月はサ
ロン便りはできないところでした。
口を開けば暑いと言う言葉しか出
ない我儘な私です。猫のある子は自
分で涼しい場所を見つけて長くな
っています。ガムテープで、バリバ
リと言いながら毛を取ってやると、
とろんとした目でくつろぐ様な猫
のあるこです。
皆様から検査結果の朗報を頂き嬉
しく思います。

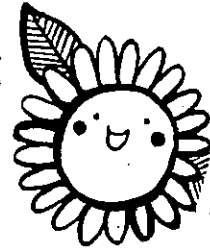
ゆめサロン

便り

平成 30 年
7 月 22 日
吉賀町ゆめサロン
No.392

酷暑の年

七月の例会

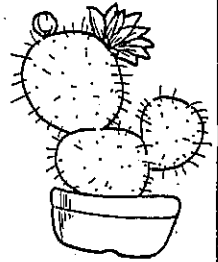


暑い毎日が続きます。

会員の皆さんは、いつもと変わりなく笑顔が集まって下さり例会は始まりました。今回は行事が重なり、いつもよりは人数が少なかつたのですが暑い中でもみんな一生懸命生きておられることを感じ、ほっとしています。今年もおうちで栽培されたトウモロコシをゆでてもってきてくださったかたがおられてみんな大喜びして頂きました。また、いつも前向きなお話しをして下さる方が今回は体調を崩され入院しておられることを知り、一日も早い全快を祈っています。



会に感謝



一人一人近況報告をする中で、手術の後の辺りが異常に痒いことや手術のあとに限らずほかのところまで、体の奥深く痒さを感じると言われる方や、時がたつて、何も感じないといわれるかたもおられました。足がもやもやして暑くて眠れないときは湿布を貼って寝るのだとか足枕をしてねると言うお話もあり、みなさんそれぞれ工夫しておられる様子を話しあっておられました。ゆめサロンは今年の十月で満十年を迎えることを保健師さんからお聞きして、その間いろいろなことをお話しし、学ぶことも多く、助けられてきたことを感じました。この会が自然消滅しなかつたのは皆さんの意欲であり何よりも保健師さんがいつもそばにいて下さったからだと改めて感謝したところです。ご病気が重くて志半ばで亡くなられたかたはさぞ残念だったことでしょう。ご冥福をお祈りします。

いつも童謡、唱歌をご指導くださる N 先生、脳トレも楽しませて頂いて感謝するばかりです。これからもよろしく願います。

会が終わったところ、暑く照って居た空が暗くなり夕立がきました。みんな元気であるように祈りながら会場を後にしました。

八月の例会

は、お休みです。みなさんお元気で九月にお会いしましょう。



眠れないとき

眠れなくて困る時、みなさんどうされますか。会員さんにお聞きしたことをかいてみます。

無理して寝ようとすればさらに眠れなくなるから起きて朝のお味噌汁のだしを取ったり、野菜を刻んだりして朝の準備をするのだそうです。そして寝たら眠れた

りするそうです。確かに本を読んだりするより、ききめがありました。お試しく下さい。

猫のあること



皆様今日は、毎日の暑さに困りますね。ある子は毎日廊下に長くねそべって涼を感じています。飼い主の口癖はひげそりをしてあげようかというのですがそんな猫はみたことがないのである子は無視しています。去年の秋のことでした。夏バテで伸びているある子のそばをねずみがそそくさと走っていきました。あるこのかおをみながらです。何とも失礼な事です。多分飼い主が要らぬお世話をして長い毛を短く切りそろえたりするから鼠だと思つたのかもしれない。最近はガムテープで毛をぬかれています。がこれはきもちがいいです。ではまた



ゆめサロン

便り

平成 30 年

8 月 11 日

吉賀町ゆめサロン

No.393

今年の夏は

特に暑いです



みなさまお元気ですか。

サロンを愛し、仲間になって下さった松前さんが、天国に行かれました寂しい事ですが、残された私達が、ますます元気で生きるように遠い空からみて居て下さると思います。ご冥福をお祈りいたします。

暑い夏



かなかなぜミは朝夕、みんなみんぜみは日中につかれもみせずにはないです。そういえば先日のことです。倉敷から帰った孫が、祖父母が

たでの生活を謳歌していたときのことです。テラスに座りこんで何か一生懸命していました。
「熱いから入りなさい」というと、
「今いい事がわかったんよ。蛙は寝かせてやったらとんで逃げんのよ」という。みるとバケツのなかに大きな岩をおいてその上に白い腹の蛙が三匹寝かせてありました。
「可哀想に死んだのだろうなあ」と思いました。孫たちは数日こちらで楽しんでこの日、倉敷に帰っていきました。



爺、婆は見送った後、蛙のはいったバケツに気がつきました。岩の上に三匹並んでいるだろと想像しただけでぞつとします。ところが中で元気に飛び跳ねています。ふたになっていたざるをのけると思い思いの方向に向けて行きました。
小学三年生の孫息子の話です。



懐かしい花

そして虫の音



今年もお墓参りの道をきれいにする季節がやってきました。業者さんが綺麗に刈ってくださった後に、狐のカミソリというオレンジ色の花があちこちに沢山さいてお盆の雰囲気がいっぱいです。
「ぎい」とどんな虫か知らないけどなっています。秋にまっかになつてくれるモミジたちには赤いプロペラの様な実が沢山ついています。お盆が近い日、暑いです。

暑い夏です。



四十度を超えたという地方もある中こちらは朝晩は運と涼しくなり助かっています。皆様お大事になさって下さいませ。

猫の

おしゃべり



みなさまこんにちは。暑くてとけてしまいうさですね。あの子は毛皮のきぐるみを着ているので大変です。飼い主がガムテープをはって毛を取ってくれるのですがこれがまた暑くてこの前飼い主を怒鳴ってやりました。でも頭が悪いからわからないのだろうからかわいそうになり舐めておきましたが大変です。それからは専用のブラシで毛をスキとってください。飼い主の娘が「もう一匹猫が出来そうなほど毛が出るね」と言っていました。夜寝るときはペットボトルに水を入れて凍らせてそれをタオルで巻いてくれます。ある日はそれにセナをくつつけて寝ています。朝になると掃除機で体中を掃除してくれます。十九歳のあるこはこうして飼い主とそのツレに守られて今日も生きています。



ゆめサロン

便り

平成 30 年
8 月 21 日
吉賀町ゆめサロン
No. 294

残暑

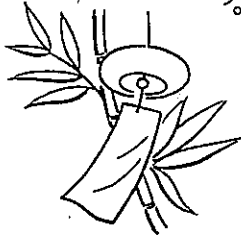
お見舞い申しあげます。



暑い夏、と言う言葉を毎年かいていますが、今年こそは干からびそうな夏でした。皆様お変わりはありませんか。そんな暑さのお陰かそれとも気のせいかわ百日紅の花が長持ちしているように思いますがどうでしょうか。

そんな暑い日ですが確実に秋は近づいています。次の季節への楽しみを見つけてみましょう。

コオロギ



友達がいきました。こんなに暑くても八月十三日の夜にはコオロギ

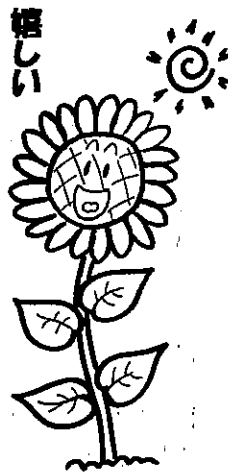
が鳴き始めるからね。と

私は半信半疑でした。でも、間違いない友達と言ったようになきました。澄んだ音色で、...

やはり自然は敏感です。そういうえば動めていた頃に、夜中に記録をとっていたとき、必ず立秋の夜には、綺麗な虫の音が聞こえていました。

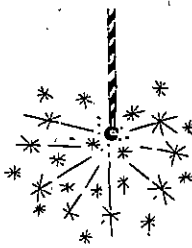
秋近し電燈の球のぬくもりの触れば指の皮膚にしたしき

という短歌を同時に思い出します。



嬉しいおしらせ

九月のサロンに、益田のオール薬局の薬剤師長の原田先生が参加して下さるそうです。薬のことで教えてもらいたいことなどありましたら聞いて下さい。



吾亦紅



山野草を愛する方が吾亦紅をくださいました。上品で小さいものを想像して玄関の前に植えました。

ところが、二メートルもありそうな丈で初秋の風に大きくゆれています。まるで私のように。

ところで花はいつつこのでしようか。たぶんそのそばには彼岸花が咲くはずです。早くも秋の花が待たれる今日このごろです。

緑子



子どもに教えられ(パソコン)

久しぶりの電話でした。

「お母さんもう年だからできんとか弱みを思っちゃだめだよ。やろうと思ったら何でもできる、気だよ気。」私は年だとは思ってな

いけど出来んものは出来んから教えてよ」と言って電話を切りました。子どもに勇気を貰ったような気がします。

猫のある子です。



皆様こんにちは、お元気ですか。

十九歳のあるこは元気です。人間の年齢でいうと八十後半らしいですがそんなことはいいいです。この世に生まれたら出来るだけ元気で長生きしたいものです。うちは人間の後期高齢者二人と高齢猫が一匹で楽しく暮らしています。飼い主が、うには同じ飼い主なら清潔にしてやらないと、と言っているこのトイレを度々洗って中に敷き詰めるものを度々かえてくれるのはいいのですが昨日は、出そうなのに早くしてくれないから飼い主が持っているトイレに飛び込んでおしっこをしました。飼い主にあきれられてしまいました。そんなあるこをカラスが電線から見て笑います。きやくきやくと

ゆめサロン

便り

平成 30 年
9 月 3 日
吉賀町ゆめサロン
No.395

暑い夏でした。

ようやく九月

おげんきですか

玄関先に植えた吾亦紅が、臙脂色の花をつけて頼りなさそうに時折吹く風にゆれていきます。もう今までの様な暑さはないだろうと思いがらまだ暑そうな外の景色を眺める私です。抗がん剤の後遺症だと聞いた足のしびれは、老化が重なりさらにひどくなっただけ今日も元気です。



男郎花



保育所の子供のお母さんが白い花をもつて来られてこれは男郎花とい

うんですよ。女郎花と同じところに咲くのです。と教えて下さいました。地味な野草でしたが清楚な花でした。この時期になるとそのお母さんと子供さんを思い出します。

台風襲来



こちらは影響がありませんでしたが、被害にあわれた方には心からお見舞い申し上げます。今まで経験したことがないような猛烈な台風という事です。でも大きな低気圧が荒れ狂う時は、体調が悪く心も安定しません。皆さんお体お大事に、と心からお祈り申し上げます。



からす



過疎という言葉が飛び交うようになって久しいのですがこの頃はよく猿とか猪とかクマなどが出没するという噂を聞きます。それに加えてからすのいたずらには困ります。パソコンを開いていてちよつと窓の外に目をやると、電柱の上でこちらをみて居ます。そして一声「かあ」といいます。これに答えてはいけないそうなので黙って知らん顔してやりません。でもお墓に行けば花をぬいてちらかしているのです。この頃は猫のまねをしてないたりします。友達のところとうちを往復しているらしく友達とウォーキングすればついてきます。或る時車から外をみて居ますとカラスが水面を走っていました。感心して夫に言うと、「それは鶉という」と言いました。「ややこしやあ」と思う私です。

猫のあそび

です。



みなさまお元気ですか。十九歳のあるこはお蔭様でこの夏もげんきにすごすことができました。暑いので飼い主にペットボトルで氷を作ってもらいそれをだいて寝ていました。飼い主がある子を大事にするものですからカラスがやきもちを焼いてある子の鳴き声をまねたりしていましたが、ある時窓の外をカラスが歩きながら飼い主をみて居たそうです。こうしているうちに夏の暑さも少し和らいできたように思います。あと少しです。夜は良く寝る飼い主をじっとみまもるあるこです。この世に生を受けたからには楽しんで生きたいと思いたい飼い主とその連れとあることの生活を楽しんでいきます。ではまたお会いしましょう。



ゆめサロン

便り

平成 30 年
9 月 16 日
吉賀町ゆめサロン
No.396

待ちに待った

九月の定例会



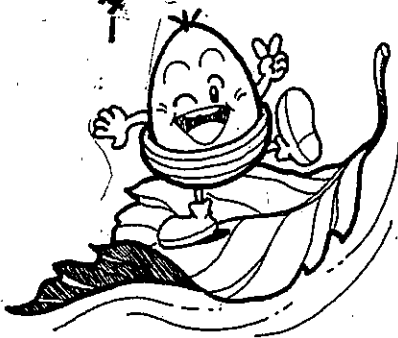
みんな元気で保健センターに集合しました。まちきれなかった子どもたちのように嬉しそうに...

八月は都合により休会だったため久しぶりの会と言う事と薬剤師の方が参加して下さることで、皆さん楽しみにしておられました。

いつものように経過報告をして、自分の飲んでいる薬についての疑問を質問をしたりした後は、童謡唱歌を合唱をして楽しい時間を過ごしました。そして薬剤師さんのご趣味の写真撮影をしていただきました。しばらくこれもおやっています。女優さんではないので美しく写るわけではないと思いますが、後では仲間と「しまった髪の毛は整えればよかったね」と笑いました。

いい思い出になります。そういえば大分前に大学の先生や県職員の方と写真撮影していただいたことがあるのを思い出します。行く川の流れば絶えずしてしかも元の水にあらず。と鴨長明の方文記を思い出したりして、大分衰えた脳がすこしだけ活性化したかもわかりません。そんな雨上がりの午後でした。

来月も薬剤師の先生は都合をつけて参加したいとおっしゃって下さいました。嬉しく思います。



保健センター

この日は大掃除の日で業者さんがフロアーにラッカーを塗ったりされるので広い畳の部屋でこじんまりと集まったのでそれで親しみがわきよかったです。

い音に、かえって元気を貰いました。保健師さんは色々気を遣ってくださったようで、参加して下さった上に気を遣わせて申し訳なく思いました。ごったがえして帰ってちゃんと挨拶もしないで帰ったことを悔やまれます。



保健師さんより

○十月は学生さんが参加される。

○研修について アビランス (外見) ケア講習会

日時 十一月九日(金) 一時か

場所 ホテル白鳥



猫のあそび

です。



みなさまこんにちは、猫のあそびです。今回も飼い主はサロンの集会につれて行ってくれませんでした。衛生上の問題があるからですが、ある子は洗面所でも入浴させられています。でもこの頃は年のせいか眠いから家で寝て過ごします。ある子の大好きな男性の薬剤師の先生が久しぶりに見たある子に向かって「痩せたねえ」と言われました。ある子は傷つきませんが本当だから仕方ないです。癌の手術をしてぐったりしていた飼い主のそばでいつも一緒にいてやったのです。飼い主の周りにはからすとあることがついています。原田先生が飼い主に言われました。感動する心が大事だと。飼い主は感謝して今日もある子と共生しています。

ゆめサロン

便り

平成 30 年

9 月 1 6 日

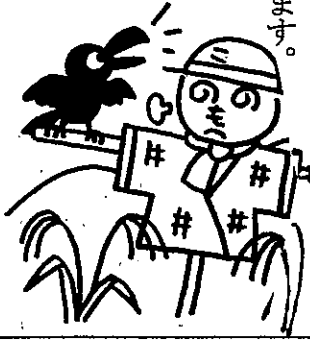
吉賀町ゆめサロン

No.397

暑い夏でした。



こんな暑い夏は嫌だ。と連発した私です。ところが、ゆめサロンの仲間の、いつも短歌をくださる方が、葉月と書いたかみと、長月と書いた紙をサロン例会のときにそっと渡して下さいました。無理なら書かなくていいからね。と言ってくださったのですが、そんな勿体ない事はできません。せひみなさんにご披露させて頂いていただくことをお約束しました。病を克服なさり歌で安らぎをくださることに感謝して披露させていただきます。



うたのたのしみ

短歌コーナー



○ 夏あげは

ゆく夏惜しむかの「とく

優雅に舞いて紅染月に

○ 守られて

守られすぎて盆迎え

両手合わせる朝のしあわせ

○ ゆつくりと

明けゆく空のあかね雲

初秋の空はあまりに清く

○ 桂月もけいげつ

なかば近くに冬星座

空にきらめき時の早さに

○ ぬぐえども

涙あふれてやまぬ時

空見上げればことの小さき

○ 清浄な

朝の空気に包まれし

無我の境地に我たたずみて

三十年 葉月 うさこ

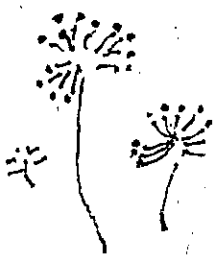
猫の



あさひ

みなさまこんにちは、お元気ですか。ある子は元気ですが昼の間は大体寝ています。

昨日はある子が好きな薬剤師さんが来られたのですがある子はとつても眠くて寝てばかりいました。飼い主はある子がぐっすり寝ているものですから布団もたたむことができなくてベッドはそのままで夜をむかえました。そんな眠い日です。ある子が目が覚めなかつたら飼い主は寂しいだろう。と思うと悲しくなります。夏の疲れですね。皆様お大事になさって下さい。もうじきヒガンバナの咲く季節ですね



ゆめサロン

便り

平成 30 年

9 月 1 6 日

吉賀町ゆめサロン

No. 398

明日は 敬老の日



気がつけば、連休と喜んでい
る場合ではなさそうです。明日は
敬老の日なのですね。同じ地区
の男性が毎年のことですが母の
日、敬老の日には花束とおやつ
と優しい言葉をくださいます。
今年も「元気で長生きして下さ
い」と優しい言葉をかけてくだ
さいました。

この若い男性の気持ちに感動する私
です。 島根県は百歳以上の人が一
番多い県と言う話を昨日聞きました。
複雑な気持ちです。世の中に対し
てお役にたきたいものです。



うさぎさんの 短歌コーナー



○ 長月の

空見上げれば秋の雲

名残りのセミの強きに鳴きて

○ お彼岸の

入りに合わせて咲く花の

彩り映えし彼岸花

○ 夏去りて

冬の星座のオリオン座

一聯なりた色取月に
いぢれん

○ 長月の

朝は静かに明ける頃

虫の音友に歩む道の辺

○ 黒あげは

花から花へひらひらと

情緒感ずる秋風月に

○ 孤独なる

心とともに歩む時

藍アサガオもそっと咲きおり

三十年 長月 うさこ

猫の

あーんじす。



ある子の思い出は沢山ありま
す。天井まで三十センチしか空
間がないところにいつもとんで
あがって住んでいたのです。ま
ずテーブルの上がってそこから
飛び上がるのです。まるでムサ
サビです。でも十三歳の頃、足を
踏み外して落ちてしまいました
た。その時の飼い主の笑いよう
に傷ついて二度と上がらないこ
とにしたのです。又、山でうさぎ
をとってきたことも有ります。
うさぎをくわえて三メートル位
ある窓に飛び上がって帰ったも
のです。そんな時必ず飼い主に
叱られました。飼い主としては
可愛いだけの猫を飼っているつ
もりだったのでしよう。飼い主
にとっては自分の子供以上に長
く一緒にいるある子なのです。
助け合って、.....。

ゆめサロン

便り

平成 30 年

10 月 8 日

No. 399

秋です。

家の中にどんないい香りを置いて、一歩外に出ると漂ってくる木犀の花の香りには勝てません。



皆様お元気で過ごしていきましょう。

遠くの方から秋祭りの太鼓の音がひびいて来ると、年甲斐もなく心が躍ります。そんな時生きている喜びを感じます。子供たちが幼かった頃の情景が走馬灯のように頭の中に浮かびます。楽しかった事を思いながらニンマリし、今日の夕食づくりに取りかかる秋の夕暮れは少し寒いです。



げんごろう？



何でしょう。床の上に寝っ転がって手足をばたつかせていました。真っ黒です。孫が小さかった頃にもそんなものがいました。私が「ごきぶりだろ？」という、娘が「まあめずらしい、これはげんごろうよ」といつて喜んでいました。遙か昔のことでした。昨夜また似たようなものがいました。娘も孫もいません。

奥の部屋に寝ていた猫を連れて来て見せると怖かったのかソファの後ろに隠れてしまいました。げんごろうと思しきものもどこかにいつてしまいました。爺、婆と高齢猫とよりそい秋の夜は更けていきます。

台風



今年は大い台風に脅かされる年ですがこちらは大きな被害もなく、

今のところ大丈夫ですが、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年の夏の暑さで熱風にさらされ、台風の風に引きちぎられながら紅葉の季節を待つ楓が、けなげにさえ見えます。

歩くこと



人間が死ぬまで健康で過ごすと、言う事を願っているのは誰も同じですが、そのために色々知り得たことを試してみたくありません。知った情報を全部試すには時間があります。コマーシャルでいうものを全部試すにはお金がありません。何をしても長続きしない私も自転車こぎの道具や色々揃えては見ましたが結局行きついたのは歩くという事です。季節のいい今は出来ませんがいつまで続けられるでしょうか。

猫の

あそびます。



皆様こんにちは。お元気ですか。十九歳のあるこは今日も元気で飼い主とそのツレとシニアの生活を楽しんでます。あるだけで過ごすのは寂しいので、飼い主たちがテレビを見ている時には一緒にテレビを見るようにしています。そばによつてきてある子を触るのです。その代り夜には飼い主が眠ると、飼い主の顔にすりすりしてやったり、ぺろぺろなめてやったりします。おあいこです。あるこは猫だから夜行性で夜になると目が覚めます。この頃はまっついていることは、水道から流れ出る水を飲むことです。この時は飼い主もそのツレもある子の要求を聞き入れてくれます。こうしてシニア二人と一匹は暮らしています。では又、ごきげんよう。



ゆめサロン

便り

平成 30 年

10 月 21 日

吉賀町ゆめサロン

No.400

サロン満十年

ご協力

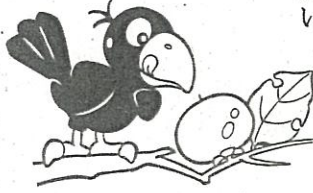
ありがとうございます

これからもよろしくお願ひします。サロン便りも内容は、進歩がな
いまま四百号となりました。これか
ら書かせてください。



保健師さんより

○ インフルエンザが心配な時期に
なりました。気を付けましょう。
予防接種も今年も補助金を出し
ますので受けて下さい。



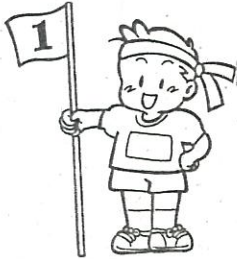
○ 十一月の例会に緩和ケアアドバ
イザーの看護師さんが来られま
す。

満十年の会



秋のさなか、保健センターの中まで
レースのカーテン越しに入る日差し
を暖かく受けながら会は進められま
した。今回は、島根県立大学の学生さ
んお二方と益田からいらして下さっ
たオール薬局の薬剤師さん、そして
いつものように保健師さんが見守っ
て下さる中で穏やかに会は進められ
ました。毎度みんなが楽しみにして
いる歌の会は、指導して下さるメン
バーの方が地域の行事に参加される
為におやすみされたのでなかったの
ですがまた次回からを楽しみにいた
しましょう。

薬剤師の先生がお話しくださった
ことは笑いの大切さでした。人の脳
はどうしても悪い方に受けとめやす
いようになっているのだそうです。
理解の仕方大切ですね。



おしらせ

今までお茶やお菓子を出して
いましたが暫くやめます。ご自分
の飲まれるお茶、その他飲み物は
ご持参くださいませ。



話すこと

薬剤師さんが教えて下さったも
う一つ大事な事は、
人間は人に話すことにおいてこ
ころのわだかまりを消すことが
出来るのだそうです。
サロンがあつてよかつたと思
謝する私です。



あるんです。

皆様こんにちは
お元気ですか。ある子は元気なので
すがこの頃、眠っている時間が前よ
りも長くなったような気がします。
飼い主が言うからそうなのでしょ
う。でも食べるものはよく食べるの
で心配はいらないでしょう。二十歳
用のキャットフードです。でも味に
敏感なのは同じです。上等な花鰻を
かってくれても食べません。九十八
円の安いものが一番いいです。多
分飼い主がネズミを捕ってくれて
もある子はいらないと思います。ま
ず飼い主はネズミなど取ることは
できないと思います。水道から
落ちる水しか飲めないのは体力が
無くなったからだろうと飼い主が
いつていました。何といつても十九
歳ですから、夜中でもお風呂場で
泣いたら飼い主が来てくれますが
ゆっくりはのませてくれません。
「もういいのよ」と止めて行ってし
まいます。冷たいものです。



ゆめサロン

便り

平成 30 年
10 月 21 日
吉賀町ゆめサロン
No.401

秋まっさかい



空は青く澄んで太陽がさんさんと輝いています。

もうじき寒くなると思うと今を謳歌したいと思うわたしです。

遠くから秋祭りの太鼓の音が響き、からすが羽音を立てて飛んできます。少しくたびれたようなコスモスの茎に赤トンボが羽根を休めています。誰もいない静かな秋です。

うさこさんの

短歌コーナー



○ アサガオの
H 30 年 10 月 21 日 神
(うさこ)

あまりに冴えし色なりて

空の青さと初霜月に

○ 極限の

折りにふるさと思い出し

尽きぬ思いで心に留めて

○ 山々の

木の葉もやがて染まりゆき

初秋の頃もそつと巡りて

○ 陽月に

道極めれば朝となり

空高くして秋は訪れ

○ 夕暮れに

なれど開きたアサガオの

花見つめるはあまりに辛き

○ 早朝の

月の明かりと冬星座

秋の夜明けを優しく照らし

○ (追句)

たらちねの

面影今も鮮やかに

山河は知りて幼き頃の

うさこさんいつも有り難うございます。言葉少なにいるときも考える事、これも健康法なのでしようね。また宜しくお願ひします。

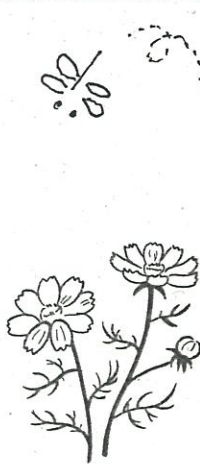
秋祭りに



遠くで太鼓の音が聞こえる頃、近所の方が二人で誘いに来てくださいました。

外の椅子に座って雑談をしていると、お神輿やそれぞれの役の人をのせた車列がやってきました。

誰も言葉少なく笛や太鼓の音が静かな山里に響きます。音にうかれてか、猫のあるこも玄関の戸の隙間からそつと覗いておりました。お祭りの幟がはためく音が聞こえ、子供たちが幼かった頃を思い出します。



ゆめサロン

便り

平成 30 年
10 月 30 日
吉賀町ゆめサロン
No.402

サロン発足十年を

迎えました。



皆様お元気ですか。秋も深まってまいりました。

ゆめサロンが始まって十年たった今日、思い出すのは、始めの時から課長さん、課長補佐さん、保健師さんが毎度参加してくださったことです。この十年で多くの事を学ばせて戴いたとふりかえります。県の方からもこんな遠い所に度々出て下さいました。個人的には二週間に一度の抗がん剤を受けていて一時間半椅子に座った状態であるのが精一杯のころでした。近隣の市、や町からも参加して下さい、癒しを目的とした会として続けてきた会はサロン便りも四百号を超えました。支えてくださった行政の方や多くの方達に感謝するばかりで

す。病院関係の方達のご尽力に感謝するのは申しあげるまでもありません。十年有難うございました。これからも宜しくお願い致します。

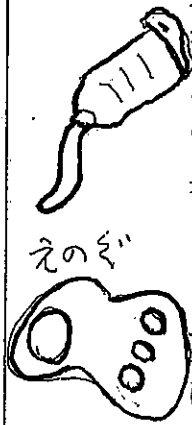
その間、志半ばで亡くなられたかたもおられます。今お一人お一人の顔が浮かびます。

心からご冥福をお祈り致します。サロンはこれからも癒しと健康を求めて歩み続けます。応援して下さい。

えてがみ



うちの長男の連れ合いのお母さんが毎月一回ハガキに絵を描いて送って下さり、私は近況とお礼を書いて返信することが楽しみで何年も続いています。この頃は、次は何の絵だろうと楽しみにしています。自分も一時期、習ったのに書くこともせげずに



蜂



近頃いい天気の日に外を歩いていると勢いよく蜂が飛んできて驚きます。蜂に追いかけられたその日の夜テレビを見ていると、ヒノキにもつともよく蜂が来るのだというのです。そういえばこの最近、離れの床板が弱くなったので大工さんに頼んでヒノキの板で修理して頂きました。自然とはすごいもんだと感心しています。その香りにさそわれて蜂が来たようです。お気をつけて下さい。

きては 子に従い



私の助け舟は矢張り子供です。パソコンでどうしてもこうしても行き詰った時、遠慮がちに電話します。「ちよつと教えてー」というと「どうしたの〜」てなことで

猫の

あやうです。

皆様こんにちは、



お元気ですか。あるこは元気です。秋は御多分に漏れず食欲がでて、飼い主は大変そうです。昨日は岩国に行つてある子のキャットフードを買つてくると言つたのですがいつもの二十歳用がなくて十五歳用を買つてきました。これが美味しいのです。たくさん食べるので飼い主は大変らしいです。吉賀町にはあるこのような高齢猫はいないらしく二十歳用はないらしいです。まだ、歯が悪くないので若者用でも大丈夫だと思います。歩く姿がヨボヨボしているだけです。皆さんも沢山食べさせていっまでもお元気でいて下さい。ごきげんよう。



ゆめサロン

便り

平成 30 年

11 月 11 日

吉賀町ゆめサロン

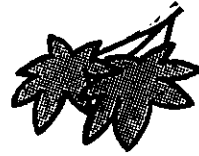
No.403

今年の秋は

長いですね。

皆様お元気ですか。

今年の十一月は暖かいですね冬はどんな天気なのか気になりますが大きなスズメバチが高い軒下に大きな巣をつくりましたので、もしかしたらあまり寒くないのかと都合のいい事を考えています。寒くないことを願う私です。



紅葉



今の季節は周囲の美しい事この上な事です。写真に撮っても本当の色が出ないもどかしさに、戸惑いさえ覚えます。子どもが小さい頃、

公園で綺麗な落ち葉を拾って周りに

まき散らして遊んだことを思い出します。もう少しすると風が吹けば、はらはらと綺麗な葉っぱが舞い、からからと音を立てて小人の行列のように風に押されるがままに逃げて行く様を毎年見る・・・そしてむなしさが残る、を繰り返す私です。今年もそんな時期が来ました。秋の夕日に、照る山もみじの歌が聞こえてくるようです。

体調日々変わる。



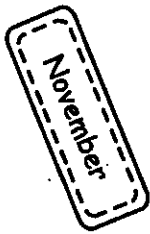
「今日は体調が悪いなあ、年のせいだ」と思ったり「今日はどこもどうもでないな」と思ったりするのですが、それが生きていくというものなのでしょう。寿命は神様が決めて下さるものだと思いますが命がなくなるまでは元気で過ごして居たいと願う気持ちの日々を重ねて、今日も生かして

貰っています。

読書の秋



数冊の本を娘から送ってきまして。自分が選んで読むより好みで偏らなくて娘から貰ったり友達から借りたりするのはいいものだと感謝します。今回は、下重暁子さんの書かれた本で、(家族と言病)というのです。子どもがいる私はその題名に戸惑いしましたが読み進めていくうちに、色々学ぶことがありました。まだ途中でですが興味をもって読ませて頂いています。この一冊が終わるころ私は少し変わっているのでしょうかそれとも忘れて行っ元の自分有るのみでしょうか。



猫の

おerufu.

皆様お元気ですか。



猫のあるこは元気で秋を楽しんでいます。このところ食欲も出て、花鯉もキャットフードもおいしくいただいています。でも水だけは汲んであるのを飲むことはできません。流れ落ちる水を舌で受けて飲むの洗い場でひたすら待つのです。飼い主かその連れ合いが洗面所かトイレに来た時「おみずがいるの？」と気付いてくれます。飲み終わると「わおくん」というと飼い主か連れ合いが止めにくきます。そのあとで猫トイレに行くのです。この頃カメムシがそここに止まって居ます。これは臭いのでじっと観察するだけで触りません。屋根の下には、スズメバチが大きな巣を造って家族蜂を増やしています。飼い主は葉を買ってきて吹いていますが高いいので届きません。地球の仲間だと言っています。いいのかなあ。強がり。

ゆめサロン

便り

平成 30 年
11 月 18 日
吉賀町ゆめサロン
No.404

十一月の例会

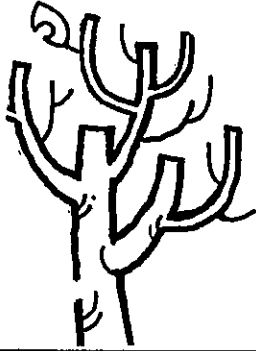
終わりました。



静かな晩秋、ブラインド越しに差し込む午後の日の中で和やかに例会が行われました。お客様は隣の市の大病院の看護師さんと、勤務のために少し遅れて来られた大きい調剤薬局の薬剤師さんでした。わが町の保健師さんはいつものように会場を準備して迎えて下さいました。笑顔と笑い声に包まれた温かい時間でした。

明るく

いつものように経過報告でみんな声を出し、自分の経験した辛さやうちあけるのですが、そんな辛い事



をよくたんたん打ち明ける事が出来るものだと感心しながら聞いている私も経験者でしたが、サロンのお陰と勿論医療に携わって下さったかたや関わって下さった方のお陰で、世の中に今なお、はびこっています。

会場が上等で広い保健センターであるため、優しい声では聞こえないことをあとでわかったのですが、私は高齢で耳が不自由になったんだらうと諦めていましたが後で皆さんも聞こえなかったと言われ、これからは大きい声で話し合う事の必要性を感じました。わざわざいらしてくださったお客さんには申し訳なかったと思います。晩秋の陽が優しく照らしてくれるなかで、保健師さん、薬剤師さん、看護師さんたちに守られて時のたつのも忘れてくつろいだ十一月のサロンでした。メンバーさんのお一人が黒豆に一人一人にメッセージカードを付けてプレゼントして下さいました。暖かいお心に感謝しました。

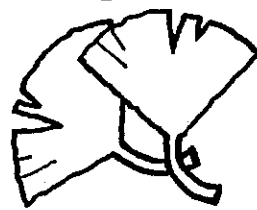


保健師さんより

後期高齢者歯科口腔検診がまだの人は忘れないうで行ってくださいと言われました。

原田先生による写真撮影

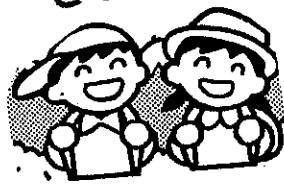
恒例になりました。その時の元気な姿を写真に撮っていただいてまた元気で会えることを約束して散会しました。



笑いが止まらない

おもちゃいじり

よく笑うと免疫力が高まると申しますが先日、出かけたとき、おもしろいことがあったのでご披



露します。ちよつと出かけたとき何年も頼んでない上握りをお願いして待っていました。しばらくすると愛想のいいご高齢のウエイトレスさんが「お待たせしましたやまかけそばでございます」と平然として言われました。わたしおかしくなつたんだらうかと思っていると連れ合いが『お寿司を頼んだんですが』という、マスターがしかつておられました。テレビでコントを見ているようで笑いが止まらない私でした。

あるんです。

皆様こんにちは、おげんきですか。あるのはもの凄く元気です。一日に数回水道からの水を飲みます。夜中でも十回にやおんを繰り返すと飼い主かその連れ合いかどつちかがおきてくれます。エサは十五歳用ですがこれがまたおいしいのです。飼い主のツレは食欲がないといいますがあるのは美味しくいただいています。今日も元気で生きています。ごきげんよう。



ゆめサロン

便り

平成 30 年

11 月 18 日

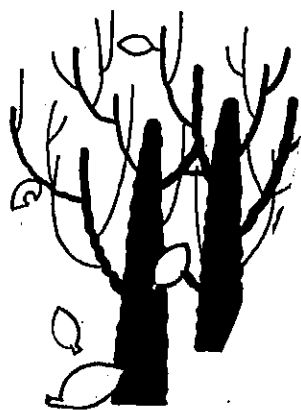
吉賀町ゆめサロン

No.405

つれづれ

今年の秋は長いと聞いていましたがほんとにそのとおりで紅葉がたっぷり楽しめます。今日も親しくして下さる方がその方の地域のお寺の講演会に誘ってくださり、参加させてもらって帰りましたら綺麗な紅葉が迎えてくれました。自然は本当に美しいと感謝しているとこ

ろです。いつも綺麗な心で歌を詠んで下さる方がそつと原稿を渡して下さいましたので、ご披露させていただきます。



うさぎさんの

短歌コーナー

○さらさらの

粉雪舞う日 遠からじ

やがて 野山も白くなりにて

11月30日 神無月
(うさぎ)

○追憶の

記憶たどれば素朴なる

遊びの 多く レンゲ畑に

○よろこびも

悲しみまでも 包み込み

夕暮れ時のおぼろ月夜に

○歌境なる

雲のおりなす美しさ

描く手休め しぼしながめて

○やわらかな

朝の陽あびて菊香る

季節は巡り 初霜月に

○空虚なる

心とともに 旅に出て

胸の痛みを風のみ知りて

うさぎさん有難うございました。

また今後ともお願いいたします。

黒豆



メンバーさんに頂いた黒豆を、ご飯に入れて炊いてみました。出来上がりは上々でした。お寿司の要領でお酢を調合し炊いた黒豆ご飯にまぜました。ピンク色の綺麗なご飯が出来ました。お試しください。

猫の

あそびです。

皆様こんにちは

ある子は元気にしています。

ある子が元気なわけが飼い主に今日わかったそうです。それはこの家に来た時から食べさせてもらっている鯉節がいいのだそうです。飼い主は、「がじゃがじゃ上げよう」といつもいいます。でも飼い主は食べません。ある子一人がこの家に残ったらどうすればいいんでしょう。それを聞いて帰った飼い主は花鯉を食べていました。いいことです。その花鯉を食べるとある子は水がほしくなるのです。お風呂場の洗い場でひたすら飼い主かそのツレが来るのを待つのです。そして貰って飲み終えるとあおんというのです。ある子は何歳まで生きるのでしょうか。今日も元気なある子です。ではまた。



ゆめサロン

便り

平成 30 年
11 月 28 日 より
吉賀町ゆめサロン
No.406

晩秋です。



明るい日差しが照っています。紅葉を誇った木々は八分位、葉を落としあたりはすっきりして青い空が広がっています。

皆様お元気ですか。私は元気です。さやかな生活を楽しんでいます。早くもお会いしたくなりました。次回は**十二月十五日**ですね。元気でお待ち致します。

今年の秋

長く楽しめました。



自分が育てた楓の苗を連れ合いが周りに移植してくれて、それが時の経過とともに早く成長したの

で今年はずっくり紅葉を見て楽しむことができました。風のある日はパパラ、からからと音を立てて今度は地面を彩ってくれます。何とも綺麗な光景が楽しめました。寂しいと言われる晩秋も素敵です。

今十二月にはいつて、夢を見ていたように枯れ木の世界になりました。でも月初めの今は異常に暖かく汗ばむ陽気です。冬はうんと寒いのではないかと早くも、取り越し苦労しています。



シクラメン 別名がかりびぼな

今まで知りませんでした。辞書をひくと、かがりびというのは鉄で作った籠にたいまつを入れて火を焚き真つ暗な夜に明かりをとすこと。

とあります。水をやるには植木鉢の下の穴からたつぷりいれたり、穴のない物には根っこ、球根にかけないようにやるのだそうです、花が散らかったように倒れるのは水不足だそうです。水をやって新聞紙を花茎の長さにして帯状に折りセロテープでとめてしばらく置くともとにかえるようです。以上はNHKのシクラメンの育て方より教わりました。



脳は何歳からでも 若返るそうです。

先日たまたま見たテレビで書いていました。書きとつたのでご披露します。
簡単ツボ押し二十秒、眉の根元

をおす。

○横断歩道の白線をまたいで歩く

○音読十分

○ワインを含んで匂いを嗅ぐ、飲み比べる。飲めない人はポテトチップス食べ比べでもよい。

○米ぬかを食べて活性化(十分くらい炒った米ぬかにスプーン一杯のお湯をそそいで飲む。だそうです。

猫のあそび

猫のあそび



皆様お元気ですか。あるこは元気です。この頃は気候がいいので食欲もあり、十五歳用のキャットフードと一つまみの鰹節と水道から落ちる水でお腹を満たしています。飼い主の言葉も少しは理解できるのです。飼い主が廊下に出るとある子も一緒に出ます。飼い主の足が向いている方を見定めてお風呂場の方をむいていけばついていき、「うん」というと「飼い主が、お水があるの？」出してくれます。その様子を見られた飼い主のお友達が、「お宅は過保護にしすぎだ」と笑っておられました。後期高齢猫だもの

ゆめサロン

便り

平成 30 年
12 月 16 日
吉賀町ゆめサロン
No.407

今年最後の

サロン例会



数日前から、師走の寒さになって
いましたのにこの日は、空は青く明
るく太陽が輝いておりました。待ち
に待ったサロンの例会の十二月十
五日、みんな挨拶も明るく、保健師
さんに迎えてもらって元気に集合
しました。十一年目の第二回例会
ですがメンバーも大分変りました。
サロンだよりの担当の私は初めか
ら変わらないので表現のマンネリ
化があるのだろうと躊躇もします。
サロンのお陰で元気なことを感謝
しています

保健師さんより

インフルエンザとノロウイルス



が流行りはじめました。両方気をつ
けましょう。特に手洗いが大事です。
ノロウイルスはアルコール消毒でな
く塩素消毒が必要です。作り方は広
報よしかでご覧ください。

会の流れ

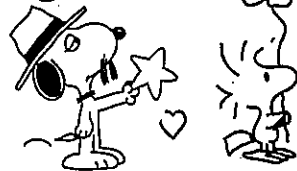


いつもの通りに進みました。一か
月間の体調や生活、色んな思いを躊
躇することなく話し、あと三十分は
いつものように思い出の歌を歌って
楽しみました。この会はいろんな職
業についておられたかたの集まり
で、看護師さん、学校の先生、金融関
係、主婦など色んな経験をお持ちの
方の集まりです。毎日が楽しくてな
らない、毎日有り難う。と生きて生活
しているというお話しの中には落語
のような楽しいお話しも実体験で話
され、感心するばかりです。今年の世
相を漢字一文字で表すと、災とテレ
ビでいっていたが自分にとっては何

だろうと考えてみたと言われた
方があり、感心しました。私も考
えてみます。こうして笑い、歌い、
喋った午後のひとときはあつと
いう間に過ぎました。

来月十九日に逢うまで元気で
過ごそうと約束して、吉賀の歌を
歌って、会を閉じました。師走の
午後の日がガラス越しに明るく
照っております。

仲間の会について



毎年三月に行われる町内七つ
の会で結成する仲間の会が今年
度も行われます。その為の話し合
いが十八日に行われます。再度保
健師さんが仲間の会について説
明してくださいました。ゆめさろ
んとしての意見はありませんよ
う。三月を楽しみに致しましょ
う。

猫の

あふりす。

皆様こんにちは



お元気ですか。

あるこは今年十九歳、千九百九十
九年五月十六日生まれです。でも若
い者です平成生まれですからね。そ
れからすると飼い主とその連れは
昭和二ケタ生まれなのです。いずれ
にしても後期高齢者ですから笑え
ません。でもある子は思っています。こ
の飼い主やその連れたち、それ以前
の人たちが頑張ったから今の日本
があるのですよね。あるこも頑張っ
たから飼い主たちの癌が治ったの
です。今助け合って生きています。
昨日は飼い主たちはゆめサロンに
行ったのです。あるこはひたすら待
ちました。飼い主を、ではなくお風
呂場の洗い場でひたすら水が出て
くるのをまつたのです。でも飼い主
が帰るまで水は出てきませんでし
た。来年五月にはあるこは二十歳で
す。二十歳を過ぎてても生きたいです

ゆめサロン

便り

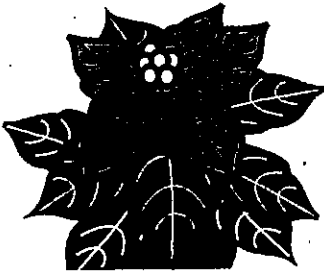
平成 30 年
12 月 16 日
吉賀町ゆめサロン
No.408

すっかり

葉っぱが
落ちました

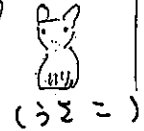


あたりは冬色、季節が変ったことを感じます。フェイスブックなどでは今、美しい紅葉の盛りというところもあります。日本は狭いようですがみんな同じとはいかないのですね。皆様の所は如何でしょうか。いつも綺麗な心で語り掛けて下さる方が今回も投稿して下さいました。ホッとする世界を感じます。



うさぎさんの
短歌コーナー

H 30年
研 走



(うさこ)

○ 辛くとも

進むべき道多々ありて
登る朝日のおだやかな朝

○ 遠い日の

母の面影今もなお
昨日のごとくまぶたに浮かび

○ ろう梅の

甘き香りに包まれて
そっと過ぎゆく春待月に

○ 過ぎ去りし

思いの多く たぐり寄せ
パズル解くよな世のはかなさに

○ 月 冴えし

初冬の頃の早朝に
思いめぐらせ今日の日歩み

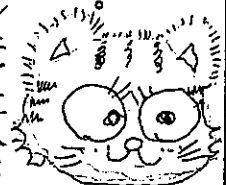
○ さまざまな

思いの多く初冬の日
そっと問いかけイチョウ並木に

猫の

あやうです。

皆様元気ですか。



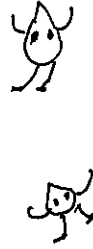
あるこは元気でシニア二人と一匹の暮らしを楽しんでおります。この頃はあるこは飼い主たちと同じに人間の様な気がします。食卓ではある子も椅子を貰って座っています。そばのヒーターが暑い時はどたと落ちてしばらく寝そべっています。飼い主たちがテレビを見るときはあるこも見ます。特に動物の出るものがいいです。この頃はテレビの後ろに手をまわしてみたりはしません。そこにはいないことがわかったのです。この前は飼い主があの臭いほうむしにかまれてひいひいつっていました。あるこはあんなものはかまいません。夜中に飼い主がぐつすり寝ているときには汲み置きの水を飲みますが、飼い主が起きているときはひたすら水道にくっついて水が出るのを待つのです。まちぼうけのあるこです。またある子の話を聞いて下さい。こきげんよう。

ゆめサロン

便り

平成 31 年
1 月 20 日
吉賀町ゆめサロン
No. 409

一月の定例会



新年最初の定例会で、皆さん楽しみに集まって下さいました。勿論保健師さんは今年も会場の設定をしてにこやかにみんなを迎えて下さり頭が下がります。

年末から、病後と言えども忙しく気を遣って過ごされたことを思い話し、また精密検査を受けられた様子を話して下さった方もありました。話して歌って楽しんで午後一の時、ブラインドを通した暖かい光が、明日から大寒ということをお忘れさせてくれるように柔らかく温めてくれていました。

保健師さんより



○今年度の仲間の集いについて
七つの会でペタンクのグループ対抗を行う。簡単な昼食も出るの
で、全員参加してもらいたい。

○ゆめサロンの会場について

四月から放課後児童クラブの一部が保健センターを使うので賑やかだと思いが了承してほしい

会の流れ



いつもと同じにみんな声を出すために一人ずつの出来事、思い、発見を話してもらい、それを聞いてうなずいたり、納得したり学んだりして過ごしました。病気を経験していないけど会に参加して下さった方も話して楽しませて下さいました。八十歳近いのに四回乗り継いで茨城まで行ってきたという方は皆さん親切にして下さった話をして下さり、また今年には満九十才と言う方は、今年の計画を発表して下さり、天気の良い日は外に出てかえうたを作られたりされ、常に前向きな生活をされることを話されて一同感心しておられました。楽しいかえうたも披露して下さい、みんなの指針を示して下さいました。会は盛り上がり、後の三十分

はメンバーさんで歌の会の先生をされる方の司会で大声で歌って笑って、あつという間の時間でした。島根県民の歌や吉賀の里歌、季節の歌などうとうとき仲間がいることの心強さを感じていました。今度会うまで元気で居ようという約束し、会を閉じました。

おみくじ



滅多に買わないおみくじを今年はおみくじを、ある神様に買ったとき、百円と書いてあったので百円を投入口に入れました。ことんと音がしたのに何も出ません。息子が言うには、引っかかっているのだからうといって箱を揺らせてくれましたが出ません。夫が言うには売り切れだろうと。でも家族で行った初詣が楽しくて幸せでした。多分最上のおみくじがなかったのでしょうか。幸せな思い出となりました。

猫の

あるじです。

皆様あけましておめでとございませう。今年も宜しく願ひいたします。

あるこは五月になったら二十歳になります。若い頃は綺麗な猫だねと褒められていましたがこの頃は毛がもさもさしていますが仕方ありません。でも頭はしっかりしています。寒いからヒーターをつけてくれと言うのはでかい声で十回なぐのです。朝が来たから起きろと言うのはでかい声で七回鳴きます。ただし朝の四時です。飼主はひーひー言っている子を布団の中にもくりこんで自分も寝ます。あるこは捕まらないうちに遠くから呼ぶようになっています。あるこは夜行性ですからね。そんなことで、この家の朝は早いのです。今日も早くからゆめサロンの歌が流れます。皆さんお元気で、また逢いませう。



ゆめサロン

便り

平成 31 年
1 月 20 日
吉賀町ゆめサロン
No.410

山は枯れ色

でも、大寒と言うのに気温も高く雨が降っています。本格的な冬が来ないとすまないでしょうがその日が怖いですね。こんな何もない景色なのに都会からお正月を迎えるために帰った息子が、「こちらの景色は美しいねえ」といいました。

それを感じる事ができるようになるためにカメラを渡されました。美を感じるバーバになるべく頑張ります。それを思うといつも歌を出して下さるうさこさんの心あやかりたいです。



うさこさんの

短歌コーナー

○凍てつきし

朝に樹氷の花の咲き

睦月の朝はそつと明けゆき

○スイセンの

つぼみふくらむ寒の入り

睦月の朝は冴えて輝き

○凜として

朱の南天の鮮やかな

季節は巡り梅初月に



H31年 睦月

(うさこ)

○寒風に

さらされながら春香る

つぼみほころび淡き紅梅

○おごそかな

日の出仰いで始まりの

朝を迎えし初春月に

**ありがとうございました。
今年も宜しくお願いします。**

尚、この短歌コーナーではカットを入れない様になっています。ご了承くださいませ。

猫の

あさくさ。

皆様ご機嫌いかがですか。

猫のある子は今日も飼い主と張り合って生きています。

新しい年になってからはまだ外に出たことがありません。そのため爪が伸びており、廊下を歩くとカチカチと音がするので飼い主が捕まえて爪切りをします。その時は飼い主とある子の格闘です。

飼い主の子供たちから貰ったという一眼レフのカメラで美猫のある子の写真を撮るのですが失礼な事にピンボケなのです。寝ている姿を写すのですから安心してはおれません。

「何枚写しても猫だ」といいますが当たり前です。そんな飼い主と今日も一日過ごします。今年もどうぞ宜しくお願いします。

